

2025 阪神甲子園球場 開催予定試合日程表

SEASON SCHEDULE (6月17日 時点)

3～4月

日	月	火	水	木	金	土
3/16	17	18 選抜	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30 選抜	31	4/1	2	3	4	5
6	7	8 18:00 ヤクルト キャッププレゼントデー	9 18:00 ヤクルト	10 18:00 ヤクルト	11 18:00 中日	12 (14:00) 中日 KIDS
13 (14:00) 中庄	14	15	16	17	18 18:00 広島	19 (14:00) 広島
20 (14:00) 広島 キャッププレゼントデー	21	22	23	24	25 18:00 巨人 Legends	26 (14:00) 巨人
27 (14:00) 巨人	28	29	30	選抜：第97回選抜高等学校野球大会		

キャッププレゼントデー
KIDS：KIDSプレゼントデー KIDSボシェットプレゼント(各日先着5,000名様の入場券をお持ちの小学生以下のお子様限定)
Legends：Tigers Legends Day 球団創設90周年を記念した特別イベント！(詳細はタイガースHP)

6月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6 18:00 オリックス トラフェス①	7 18:00 オリックス トラフェス②
8 (14:00) オリックス	9	10	11	12	13	14
15	16	17 18:00 ロッテ	18 18:00 ロッテ	19 18:00 ロッテ	20 18:00 ソフトバンク	21 (14:00) ソフトバンク KIDS
22 (14:00) ソフトバンク Legends	23	24	25	26	27	28
29	30	振替試合が入る可能性あり				

トラフェス①：トラフェスタオルプレゼント
トラフェス②：トラフェスTシャツプレゼント
KIDS：KIDSプレゼントデー KIDSボシェットプレゼント(各日先着5,000名様の入場券をお持ちの小学生以下のお子様限定)
Legends：Tigers Legends Day 球団創設90周年を記念した特別イベント！(詳細はタイガースHP)

8月

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5 全高野球	6	7	8	9
10 KIDS	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22 全高野球	23
24	25	26	27	28	29 18:00 巨人	30 18:00 巨人
31 18:00 巨人	全高野球：第107回全国高等学校野球選手権大会					

5月

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	1	2 18:00 ヤクルト こども祭	3 (14:00) ヤクルト こども祭
4 (14:00) ヤクルト こども祭	5	6	7	8	9 18:00 中庄 TORACO	10 (14:00) 中日 TORACO
11 (14:00) 中日 TORACO	12	13	14	15	16 18:00 広島 Legends	17 (14:00) 広島
18 (14:00) 広島	19	20 18:00 巨人 伝統の一戦	21 18:00 巨人	22 18:00 巨人	23	24
25	26	27	28 18:00 DeNA	29 18:00 DeNA	30	31

こども祭：こどもまつり KIDSユニフォームプレゼント(各日先着7,000名様の入場券をお持ちの小学生以下のお子様限定)
TORACO：女性限定の入場者プレゼント(詳細はタイガースHP)(各日先着20,000名様)
Legends：Tigers Legends Day 球団創設90周年を記念した特別イベント！(詳細はタイガースHP)
伝統の一戦：折り畳みクッションプレゼント

7月

日	月	火	水	木	金	土
29	30	1 18:00 巨人 Legends	2 18:00 巨人	3 18:00 巨人 キャッププレゼントデー	4	5
6	7	8	9	10	11 18:00 ヤクルト ウル虎の夏	12 18:00 ヤクルト ウル虎の夏
13 18:00 ヤクルト ウル虎の夏	14	15 18:00 中日 ウル虎の夏	16 18:00 中日 ウル虎の夏	17 18:00 中日 ウル虎の夏	18	19
20	21	22	23	24	25	26 18:00 DeNA
27 18:00 DeNA	28	29 18:00 広島 Family	30 18:00 広島 Family	31 18:00 広島 Family	1	2

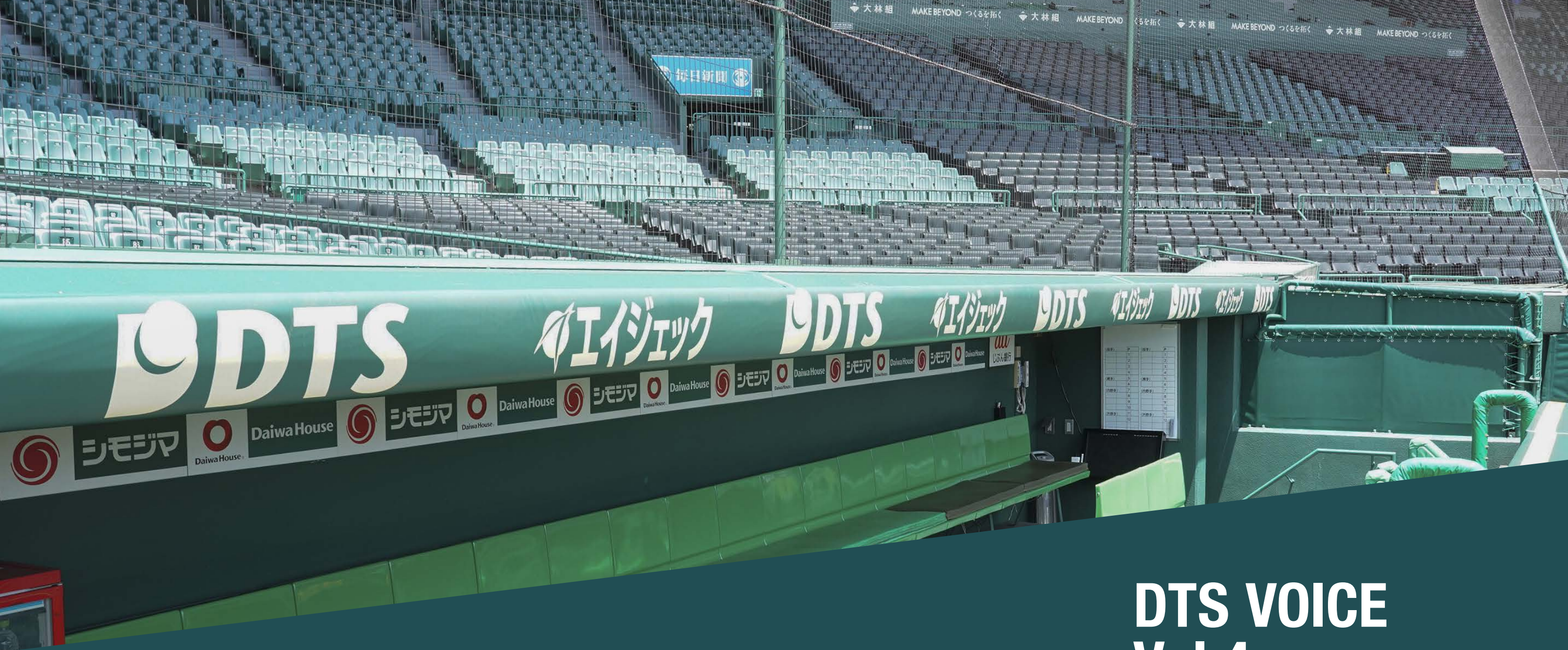
Legends：Tigers Legends Day 球団創設90周年を記念した特別イベント！(詳細はタイガースHP)
キャッププレゼントデー
ウル虎の夏：ウル虎の夏2025 限定オリジナルジャージプレゼント
Family：Family with Tigers Day (詳細はタイガースHP)

9月

日	月	火	水	木	金	土
31	1	2	3	4	5 18:00 広島	6 18:00 広島
7 18:00 広島 KIDS	8	9 18:00 DeNA	10 18:00 DeNA	11 18:00 DeNA	12	13
14 18:00 中日	15 18:00 中日	16	17	18	19 18:00 DeNA	20 (14:00) DeNA
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	1	2	3	4

KIDS：KIDSプレゼントデー KIDSボシェットプレゼント(各日先着5,000名様の入場券をお持ちの小学生以下のお子様限定)





阪神甲子園球場、 社名広告への想い。

DTSは、2024年に開場100周年を迎えた阪神甲子園球場に社名広告を出しました。

日本最古の本格的な野球場という伝統を礎に次の未来を目指していく甲子園の姿は、創立50年を超えたDTSの「チャレンジし続け、常に変化を楽しむ」経営方針とも融合する価値観であると考えています。

DTSでは創業時から野球チームが活躍しており、野球の聖地からDTSの存在を日本全国へ発信することにワクワクしています。社名広告をきっかけに、DTSのトータルシステムインテグレーター（Total Sler）としての実績と実力を皆さまに知って頂けるようDTSグループ社員一同、邁進してまいります。

DTS VOICE Vol.4

Contents

- 04 システム導入事例のご紹介 / DTSのソリューション
- 08 特集1 DTSのエヴァンジェリスト
- 14 特集2 スペシャル対談

阪神タイガース
岡留 英貴



DTS野球部
張 大地

- 24 DTS野球部選手紹介
- 26 DTS野球部2024試合日程 / 野球部メッセージ

システム導入事例のご紹介

株式会社アーケム様

「勘コツ」に頼る技術継承からデータドリブンの意思決定へ！

三重県の名張工場から世界へ！DX企業アーケムの挑戦

インタビュー詳細はこちらから



浅田 拳史 様（シートパッド事業第一本部 本部長）
根本 真悟 様（シートパッド事業技術部 シートパッド事業技術課）
稲垣 儀彦 様（スラブ技術部 スラブ技術課 課長）
福本 優 様（スラブ技術部 スラブ技術課）
宮末 研太郎 様（生産統括部 生産・技術統括管理課 課長）

—— どのような経緯でお声がけいただいたのですか

宮末様：アーケムとして新たなスタートを切るにあたり、経営陣から与えられた大きなミッションのひとつがDXの強化でした。新会社のITチームも発足したばかりだったので、まずは展示会を訪れてヒントを探していたのです。そこで出会ったのがDTSさんでした。DTSさんもちょうどPasteriot.mi（パステリオエムアイ）のリリース直前のタイミングで、お互いにこれから！という時期でしたね。

—— DTSのPasteriot.miを選定いただいた決め手は？

宮末様：IoT化や分析といったサービスを提供している会社はたくさんありましたが、一気通貫でお願いできるところは限られていました。Pasteriot.miはAI分析の活用で、特別な知識がなくとも使えるユーザーフレンドリーな点も魅力でした。特に分析モデルの自動生成には興味を惹かれました。分析というとアカデミックなイメージがありましたが、これなら工場の現場でも活用できると感じ、まさに求めていたソリューションでした。

現場でも活用できる、
まさに求めていた
ソリューションでした

—— 主要事業であるシートパッド、スラブというふたつの事業の当時の課題は？

根本様：シートパッド事業では、不具合が発生した製品の原因を追究しきれていないことが課題でした。データ分析しようとする、ひとりの専任者がひとつの分析テーマに1週間かかりっきりになってしまい、大量のデータがたまるばかりでした。またシートパッドは、製造中の情報、外観検査の情報、と情報が分断されていることに加え、ひとつひとつの製品がいつ製造されたのか？といった詳細情報までは把握できていませんでした。そのため、現場のデータと結果を紐づけて分析することに難しさを感じていました。

福本様：スラブウレタンというのは、ポリオールとイソシアネートを反応させて硬化させた、大きな食パン形状のブロックのことです。ブロックを切り取って、マットレスやまくら、様々な形状の製品に加工していきます。何種類もの原料をレシピ通りに調合して作りますが、温度や湿度によっても仕上がりにバラつきがありました。うまくいかないと、膨らまない、ひびが入って割れる、といった不良品が生まれます。ウレタンは再利用が難しく、この巨大な製品の廃棄ロス削減のため、人の「勘コツ」で調整していた作業をデータで分析したいという思いがありました。



スラブウレタンの事例

人の「勘コツ」で調整していた作業を
データで分析したいという思いがありました



—— 導入過程は、度重なる変更も柔軟な対応で
技術者のITスキルがレベルアップ

宮末様：IT分野に強いメンバーも少ない中、まずはやってみて、変更を加え、また進む。その繰り返しでした。DTSさんには、ITに詳しくない私たちなりに希望をお伝えするのですが、それならこういう方法がありますよ、といつも分かりやすくご提案いただきました。DTSさんにお任せしていれば必ず実現する、という信頼感がありましたね。

また、Pasteriot.miは簡単に操作できる部分もありますが、使いこなすのが難しい機能もあります。DTSさんと社内のIT部門とが時間をかけてコミュニケーションをとり、少しずつ理解を深めていきました。

データをみながら
未来よりも
先に動くことが可能に

—— 導入後は、データを元にした議論が飛び交うように

根本様：ITの専門家ではない製造現場の私たちが、日々の業務をこなしながら操作方法を一から学び、大量のデータを扱うことになったので最初は大変でした。しかしPasteriot.miによって要因が明確化し、改善の糸口がつかめるようになったと思います。

浅田様：シートパッドの現場では、今ではデータを見ながら、技術者が集まって盛り上がる場面も見られます。技術者のレベルアップにも繋がっているのではないかと期待しています。

稲垣様：スラブの硬度や密度は温度や湿度によっても影響を受けるので、製造現場では数日先の天気予報を見て様々な条件を調整し、品質のバラつきを抑えています。データを見ながら未来よりも先に動く—これが可能になったのはPasteriot.miのおかげですね。

—— 名張の挑戦を全国へ、そして世界へ

宮末様：高い技術力に加えデータにも強いデータサイエンティストを、他の拠点にも増やしていきたいですね。現在名張工場だけで実施していますが、国内そして海外の他の拠点にもDXの取り組みを広げていきたいです。



株式会社アーケム

株式会社ブリヂストンの化成系ソリューション事業を前身として2022年に設立。「世界中のあらゆる場面に快適さを広げる」をビジョンとし、70年以上培ったウレタン技術と提案力で、お客様と社会のニーズに応えていくことを強みとしています。

お客様のビジネスをDXで強くするトータルSierのDTS

今おススメのDTSソリューション

製造業データ統合管理ソリューション

Pasteriot.mi (パステリオ エムアイ)

製造現場のデータと生産管理システムをシームレスに連携

「Pasteriot.mi」は、Geminiotをコア技術とした製造業向けのデータ活用ソリューションです。IT(情報技術)とOT(操業技術)のデータを一元管理し、AIによるインサイト抽出と生産管理システムを通じたフィードバックにより、製造業のDXに実効性の高いソリューションを提供。IoTによる「見える化」だけでは解決できなかった生産現場の課題を解決し、生産性と投資対効果を飛躍的に高めます。また、製造現場で行われてきたこれまでのDXの取り組みに加え、予実データの統合管理も可能です。BIやAIを駆使して現場に紐づいたデータを分析し、生産進捗のリアルタイム把握と生産計画の最適化を実現します。

お問い合わせ：デジタルソリューション事業本部

Pasteriot



工場IoTソリューション

稼働アップNavi®Pro(稼働アップナビプロ)

生産現場の設備・人・情報をつなぐJTEKT IoE Solutionのラインナップから



「稼働アップNavi®Pro」は生産現場の設備・人・情報をつなぐJTEKT IoE Solutionのラインナップの一つです。センサーやPLCなどから収集したあらゆる設備の情報を可視化し、改善に必要な情報に解析する、トヨタ生産方式に裏付けられたノウハウの詰まったソリューションです。デジタル化によりタイムリーで正確な工場マネジメントを実現します。また、様々なオプションにより、「見える化」の先にある「リアルタイムな改善」で生産、品質、保全の向上に貢献します。

お問い合わせ：デジタルソリューション事業本部

稼働アップNavi®Pro



ServiceNow難関資格 CTA認定資格者を輩出



テクノロジー&ソリューションセグメント
デジタルソリューション事業本部
デジタルビジネス事業部
ServiceNow 推進担当

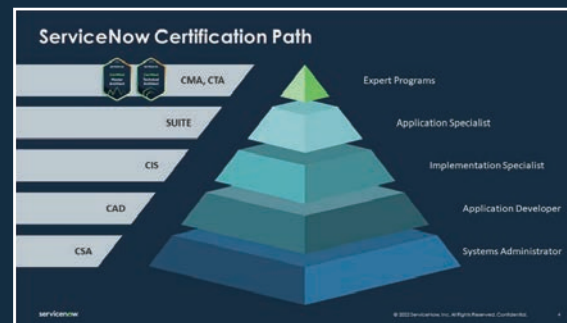
島貫 航二

ServiceNowのCTA (Certified Technical Architect)

CTAはServiceNowの難関資格で、エキスパートプログラムの一つとして認定されている。認定者は、ビジネス情報と技術要件を分析し、アーキテクチャの青写真に変換し、複雑なビジネス目標を達成するためのソリューションを提案する責任を担う。お客様のビジネス課題を「より広い視野」で、「より深く」、「より中長期的な視点で」解決する術を、ServiceNowを通じてご提案できるのがCTA。

CTAの役割は大きく4つ

- テクノロジー戦略とロードマップの作成
- 拡張性のあるプラットフォームの技術設計と構築
- リーディングプラクティスに従った、技術的な意思決定の支援
- プラットフォーム健全性の確保とアップグレードしやすい環境の維持



CTA認定資格者、島貫が語る ServiceNowの魅力

効率的なIT運用で 「あなたにしかできない業務」の パフォーマンスをあげていこう

DTSのServiceNowチーム

DTSには創業50年を超える歴史がありますが、ServiceNowの推進を担う私たちのチームは2022年に発足したばかりの若いチームです。当時すでに、ServiceNowを取り扱う会社は日本に数社あり、私たちは決してアーリーアダプターというわけではなく、アーリーマジョリティというポジションでした。後発ポジションの中で、いかにして競争力を培っていくかということを考えて、私はチームに対して3つのCというテーマを設定しました。

Change、Challenge、Chance。

これが私たちがテーマとした3つのCです。Changeとは変化を恐れてはいけないということ。変化し続けていく世の中やビジネスのながれに対して、常に柔軟に変化していくという意識を持ち続けるチームでないといけないと考えています。Challengeとは常に新しいチャレンジを設定しながら業務に取り組んでいくということ。一つひとつの提案の中に、何かしらの新しさを生み出すためのチャレンジを私たちは盛り込んでいきます。そうした取り組みを丁寧、真摯に続けていく先にこそ、大きなChanceが待っているという意識を共有しながら、私たちのチームは動いています。

日本で4番目のCTA認定

CTA (Certified Technical Architect、以下CTA)とはServiceNowが設定している資格のなかでも、エキスパートプログラムのひとつです。

CTAの役割は大きく4つ。「テクノロジー戦略とロードマップの作成」「拡張性のあるプラットフォームの技術設計と構築」「リーディングプラクティスに従った、技術的な意思決定の支援」「プラットフォーム健全性の確保とアップグレードしやすい環境の維持」です。クライアントのビジネス課題をより広い視野で、より深く、より中長期的な視野で解決するための手立てを、ServiceNowを通じて提案できるのがCTAです。

CTAプログラムでは、この4つの役割の遂行にあたり要求される知識を得るためのテーマが設定されています。そしてグループメンバーとのディスカッションやプレゼンテーションを通してテーマ理解を深め、実践を学んでいきます。プログラムはAPACのリージョンで実施されるため、共通言語は英語です。

このプログラムは13週にわたって実施されるのですが、業務と並行しながらの対応、そして私自身の英語力に課題がありました。その中で、先程お伝えした2か月間のDTSインドグローバル研修による英語力の向上などが役立ちCTA認定を取得することができました。

最新の2025年3月6日時点の情報では、日本でCTA認定者は13人。1年前に私が取得した時点では日本で4番目の取得だったので、CTA認定者は日本でも着実に増えてきています。それだけServiceNowに対する注目が大きくなっているということです。

CTA認定により役立った点

実は日本でのServiceNow導入にあたって、当初はCTA認定の取得が一つの重要な指標として検討されていたため、私自身もその流れの中で認定取得に向けて取り組んでいましたが、当時は柔軟な形で提案活動が行なわれていました。

しかし、日本市場特有のニーズや導入プロセスに対応する上で、CTA認定者の専門性が重要な差別化要素として再評価される流れになりました。そんな流れの中で、World ForumというServiceNow社の年次イベントにおいて、CTA認定のメリットや認定取得のためのプログラム履修のメリットの発表依頼が私に舞い込みました。

そして、とても大きな会場で、たくさんの方を相手に発表させていただきました。その時は改めて深く、強く、CTA認定取得の価値や意義を実感しました。

またDTS社内では、CTA認定取得のプログラムで学習した内容を日本語でまとめなおして、チームメンバーに説明・共有する取り組みを定例会として行っています。

説明を受けたメンバーがCTA相当の知識を持つことが第一の目的ですが、日本語にまとめなおして説明するというプロセスの中で、私自身の理解度も深まっています。



ServiceNowの魅力と事例

現在、世の中には様々な業務効率化ツールがあります。その中でServiceNowが特長的なのは「ITでいかに人に楽をさせることができるか」をコンセプトに開発され、発展してきたことです。多くの企業ではシステムありきで業務効率化ツールが運用されている実態があります。たとえば購買部門と人事部門とで別々のシステムが入っている場合、その両方を活用しようとすると、どちらの運用ルールも理解・習得しなければなりません。つまり人に大きな負荷がかかってしまいます。

そうした現状を変えようというのがServiceNowの狙いです。そのため、ServiceNowはOne Platform、One Database、One Architectureのプラットフォームになっています。プラットフォームも、データベースも一元化することのできる1つのアーキテクチャーで構築されているのです。インターフェースも統一されているので、部門が変わっても、新しい機能が追加になっても、いつも同じ感覚で活用することができます。そして、AIの活用により、そのインターフェースが「人が自然と使える」ものとして構築されているという点もServiceNowならではの大きな魅力です。

実際に、社内にも多岐にわたり混在していた運用ルールが、ServiceNowを導入したことで簡素化されたというクライアント事例があります。そして、この簡素化されたという実績、その使い勝手の良さを多くの社員が実感したことが、他にも既存の業務プロセスの中で無駄なものがないかを社内でも再検討するきっかけにもなりました。結果的に様々なワークフローにおいて、「人が楽になる、人の負荷を軽減する」ための見直しと改善が行われたと聞いています。

“それぞれの会社の
人材全体で生産性向上を
実現していくために
ServiceNowがあります”

ServiceNowを導入すべき企業とは

サイロ化と呼ばれる、社内の様々な部門ごとに一つひとつのシステムが独立してしまっているような状態を改善できるのがServiceNowの大きな特長です。

その意味ではServiceNowは数ある運用ツールのひとつ、というわけではありません。運用ツールのうちのひとつとしてServiceNowを導入しようと考えられている企業では、ServiceNowのメリットを活かしきれず、コストパフォーマンスの悪い取り組みになってしまいます。

そうした特性を踏まえると、システム移行において現行踏襲を第一に考える企業風土とServiceNowの親和性は高いとは言えません。また、それぞれの部門の独立性が高く、個別最適を重視する企業文化においては、ServiceNowの全体最適志向との間にギャップが生じる可能性があります。ServiceNowが特にフィットするのは、IT運用の効率化・可視化を求めている企業です。業務をデジタル化し、従業員エンゲージメントと生産性の向上を図りたい、そのためには根本的な部分から改革が必要だという風に考えておられる企業にはServiceNowはとても効果的に活用いただけます。

提案と導入支援のこだわり

ServiceNowは企業の大きな成長の起爆剤となるポテンシャルを備えています。ですので、今日の前にある課題だけではなく、課題を解決した先にどのような拡張機能を設けられるのか、そこまでのロードマップを意識しながら提案しています。その上で重視しているのが表面的な課題ではなく、根本的な課題に目を向けること。現場が直面している課題、マネージャーが苦慮している課題、トップマネジメント層が危惧している課題など、様々な課題を抽出し、クライアントの生産性向上のための抜本的な提案となるように取り組んでいます。

導入支援についてですが、ServiceNowの基本的な思想はクライアント社内での維持管理です。しかし、日本では導入ベンダーが運用を行うことが商習慣となっており、しかるべき担当者を割り当てにくいという現状があります。

私たちはできる限りスキルトランスファーを行うことにより、クライアントが社内でも維持管理できるように取り組む一方で、運用リソースが不足しているケースにおいては安全にシステムを利用していただくために伴走も行っています。

導入を検討する企業様へ

ServiceNowの開発思想となっている「ITで人を楽に」は、言い換えると、従業員が発揮できるパフォーマンスを「人でしかできないことにフォーカスしていただく」ということです。それぞれの会社の人材全体で生産性向上を実現していくためにServiceNowがあります。

今までのテクノロジースタックに違和感を覚えられている方に、ぜひ一度ServiceNowを検討いただき、企業の生産性向上や成長を実現いただきたいと思います。

特集1 DTSのエバンジェリスト



島貫のキャリア

DTSに入社したのは2001年、ちょうど21世紀が始まった年です。入社後の研修などを終えた2002年から2007年にかけては大手通信事業者様のBPO業務を担当。国内に構えているデータセンター事業を支援するためクライアントのオフィスに常駐して働いていました。2008年に入り、そのクライアントから「国内のノウハウを海外に展開していきたいので国内と同じように支援して欲しい」とオーダーを受け、プロジェクトマネージャーとして海外データセンタービジネスの支援をおこなうことになりました。

当然、業務上で英語が共通言語となります。当初は英語に困ったら日本人のクライアントに相談することが可能な形で業務を行いましたが、業務をこなすうちに段々と自分自身で直接現地の担当者とコミュニケーションをとりたいとの意識が出てきました。

私の英語スキルを気にかけてくれていた当時の上司から「インド研修に参加しないか？」との提案をもらい、2か月間DTSインドグローバル研修に参加して英語力を高めました。不在の期間については、上司に顧客との調整、不在時の要員調整を実施してもらいました。英語スキルの向上は大変なミッションでしたが、滞在先のインドのブネでおいしいカレーを知ることもでき、今となってはいい思い出です。

帰国後は、より英語でのコミュニケーションが必要とされる顧客業務に関わることができました。

転機が訪れたのは2019年です。ServiceNowを活用したDXビジネス「ReSM Plus(リズムプラス)」に参画することになり、この時に初めてServiceNowに触れました。

その後、ServiceNowを使ったビジネスを立ち上げるためにServiceNow Partner Programへ参画してきました。

そして2022年。ServiceNow推進担当というServiceNow

を専門に取り扱う組織が出来上がりました。ServiceNowの提案や運用を通じて、様々なクライアントの業務効率向上・生産性向上に寄与すべく、チームメンバーとともに日々の業務に励んでいます。

若いエンジニアのみなさんへ

先日ラスベガスでServiceNow Knowledge 2025に参加し、グローバル企業の先進的なデジタルサービスの実例を聞く機会がありました。

その一つをご紹介します。

それはあるレーシングチームでの取り組みです。そのチームでは練習走行中に様々な機器のセンサーからデータを収集するシステムを構築しデータ活用の専門部隊を構成しました。そのデータを基にレーサーがどのように運転すればいいのか、ピットインの時の作業はどのように進めればいいのかを知り、それによってレースタイムを縮めることに成功しているということでした。

また、ラスベガスへのトランジットのロサンゼルスでは、自動運転のタクシーに乗る機会もありました。普通に人が運転しているのと変わらないスピードと乗り心地に驚きました。

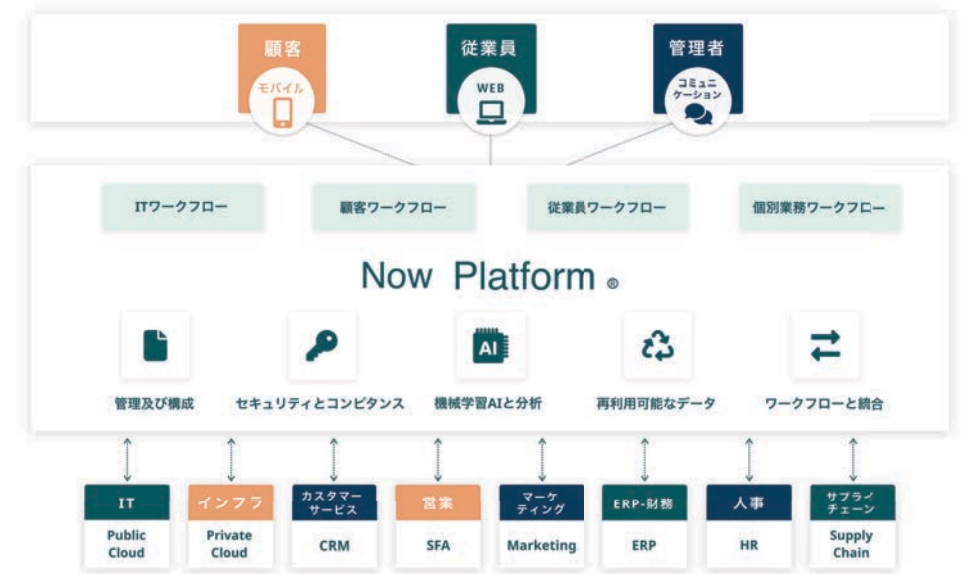
そこで実感したのは私たちエンジニアには、非常に大きな可能性があるということです。

そして、そういう可能性は実際の現地・現場で体験・体感しないと分かりません。これはクライアントの課題も同様です。実際にシステムを使用している人がどういうことで困っているのかという、現場の実践的な課題を理解できないと、いいシステムはつくれません。

お互いに、様々な現地・現場に真摯に向き合いながら、より良いエンジニアになり、より良いシステムをつくることができるように切磋琢磨していきましょう。

ServiceNow（サービснаウ）とは？

様々な業務やシステムを共通プラットフォーム(ServiceNow AI Platform)に統合し、まとめて運用・管理できるクラウドサービスです。部門ごとにバラバラになっていた情報とワークフローを一元化し、「見える化」「効率化」します。また、人力に頼っていた作業を自動化し、生産性の高い業務にリソースを注ぐ環境づくりをサポートします。



ServiceNow の特長を挙げてみました

- **単一プラットフォーム**：様々な部署の業務をエンドツーエンドでつなぎ単一プラットフォームに集約します。
- **デジタルワークフロー**：作業の割り当てや連携を自動化します。また、作業そのものも自動化することができます。
- **ノーコード**：プログラミングが不要で、誰でも簡単に、かつ直感的にアプリ開発を行うことができます。
- **ローコード**：最小限の手動プログラミングでアプリケーションを迅速に作成できます。技術者ではないユーザーが実用的なアプリを構築できるようにし、プロの開発者が複雑なタスクを進めることができるようにします。

こんなお困りごとがあれば **ServiceNow** をご検討ください。

- 企業において部門ごとの情報管理方法がバラバラで、情報の一元管理ができていない。
- 問い合わせの対応方法など、ナレッジが社内で共有されていない。
- 社内で手作業が根強く残っており、非生産的な業務にリソースが終始している。
- 業務をデジタル化したいが、従業員のITリテラシーが充分ではない。

ServiceNowは、このような様々な企業の課題をシンプルな単一プラットフォームで解決します。人事、カスタマーサービス、財務など、特定の業務に特化したソリューションも備わっています。ぜひ、DTSへお問い合わせください。

お問い合わせ： デジタルソリューション事業本部



スペシャル
対談

阪神タイガースの本拠地・阪神甲子園球場（兵庫県西宮市）に、昨年から我が社がネーミングライツ（命名権）を取得したボックスシート「DTSボックス」と、広告看板が設置されています。昨年に引き続き、今年も沖縄・宜野座村での春季キャンプに訪問させていただき、DTS野球部所属の張大地氏と、亜細亜大時代の先輩・岡留英貴投手が対談を行いました。
（取材日：2月6日 取材協力：月刊タイガース）

未来へと続く バッテリーの絆

おかどめ ひでたか
岡留英貴選手
Pitcher



はり だいち
張大地
Catcher

岡留 英貴
阪神タイガース / 投手 / 背番号64

1999年11月7日生
沖縄県出身
181cm/95kg
右投右打

沖縄尚学高から亜細亜大を経て、2021年度ドラフト5位で阪神タイガースに入団。2年目の2023年に一軍初昇格すると、10月1日の広島戦でプロ初勝利を記録し、日本シリーズでも登板した。3年目の2024年は開幕一軍入りし、中継ぎとして35試合に登板。9月21日にはプロ初セーブを上げるなど、飛躍の一年となった。今季は“勝ちパターンの中継ぎ”として、さらなる活躍が期待されている。

張 大地
DTS野球部 / 捕手 / 背番号8

株式会社DTS
テクノロジー&ソリューションセグメント
デジタルソリューション事業本部
クラウド・インフラ インテグレーション事業部
CI第二担当

2000年10月14日生
徳島県出身
178cm/80kg
右投右打

主な仕事内容 コンビニでマイナンバーカードを使用した、住民票などを発行することのできるシステムの保守および運用。



濃厚な四年間

—— お二人は大学時代の先輩後輩ですが、練習でもバッテリーをずっと組んだり、関係が深かったそうですね。

岡留 そうですね。思い出は結構あるほうだと思います。

張 私自身、ブルペンキャッチャーとしてチームに関わってきたので、練習でのピッチングはもちろん、試合前のアップや準備で、たくさんご一緒させていただきました。

—— 岡留投手から見て張さんはどんな後輩でしたか？

岡留 本当に真面目で、気配りできる後輩だったので、監督が思っていることや意図に沿うような取り組みをしたり、お互い話し合っ練習したイメージがすごくありますね。

—— 張さんから見て岡留選手はどんな先輩でしたか？

張 野球選手としては「努力家」でした。先ほど（取材当日の練習）もずっとブルペンで投げていましたが、どうすれば良い球がいくか、良い結果が出るかを常に考えて練習やトレーニングをされていた印象があります。でも寮に帰れば、「ずっと寝ている」イメージが強かったですね（笑）。

岡留 よく寝ていました（笑）。

張 起こしても起きないんです。あとは岡留さんの代で一番優しい先輩だったと思います。

—— バッテリーといえば、チームの中でも、例えば野手同士とはまた違う意味で、絆が深い関係性ですよな。

岡留 そうですね。野手と違うのは、お互いで話し合って試合を作っていく部分ですね。張はブルペンキャッチャーというポジションで頑張ってくれていましたが、ブルペンから試合に入る時まで、どうやって良くしていくか話し合っ、試合が終わってからも「今日どうだった」「このボールは使える」とか、お互いコミュニケーションを取っていました。そういう絆、信頼みたいな部分は、バッテリーの特別なところなのかなと思います。

張 お互い本音で話し合う機会が多かったのも、その分絆がどんどん深くなっていったと思いますね。

—— 練習後に岡留投手から張さんに相談したこともあるとお聞きしましたが、覚えておられますか？

岡留 内容は覚えていないですね（笑）。とにかく相談は、たくさんしました。

—— 張さんが特に覚えている相談はどんなものでしたか？

張 良い時と悪い時の差が結構激しかったので、「キャッチャー目線でどうなってる？」みたいな、受けている目線で感じたことを教えてほしいという相談はよく受けていました。

岡留 言った可能性はありますね（笑）。

—— それについて張さんはどのように答えられたのですか？

張 受けていて思ったことを素直に伝えたり、監督さんがピッチャーのことをよく言っていたので、他のピッチャーに言っていることで岡留さんに通ずることはないか考えて、それを伝えるようにしていました。

—— そういう意味でも張さんは、頼りになるキャッチャーだったのではないですか？

岡留 はい、本当に。色々話しやすく、本音を引き出してくれました。

—— 岡留投手が今こうしてプロで活躍できているのは、張さんの存在が大きかったと。

岡留 もちろんです。大学で結果を出せたからプロに入れたと思うので、張がボールを受けてくれたのは大きいと本当に思います。

—— 張さん自身もそういう深い関係の中で、岡留投手がプロに指名された時はうれしかったのではないですか？

張 うれしかったですね。やっぱりうまくいっている時もいない時も、間近でずっと見ていたので、自分が（ドラフト

に）かかったような感覚でした。

—— 亜細亜大学は、練習もかなり厳しいという話をよく聞きますが、お二人が4年間やり通せた原動力は何でしたか？

岡留 反骨心みたいなものだと思いますね。全部がうまくいったわけではないですし、悔しい時には監督が愛のある言葉をずっとかけてくれて、そこで負けるのではなくて、見返してやろうと。そういう気持ちだけでやっていたら4年間終わった感じでした。



学生時代の岡留選手（左）と張選手（右）

未来へと続く バッテリーの絆



—— ということは、「剃厘※」の時はかなり反骨心を持っていたのではないですか？

岡留 いやあ、結構メンタルに来ますけどね(笑)。取材前に張と話した時も、「髪伸びたな」という話をしていたんです。

お互いに結構やった記憶があるよな？

張 ほぼセットでしたね。

岡留 例えばピッチャーが怒られたらブルペンキャッチャーも一緒にやるんです。特に張がブルペンキャッチャーになってからは、個人的にはあまり怒られるキャラじゃないのに、チームやピッチャーのことでも張は剃っていたので。本当にお互いよく剃ったなと(笑)。回数はもう数えきれないですね。2、30回はやりました。

張 頭皮が心配になるくらいは剃りましたね(笑)。

—— 張さんは途中からブルペンキャッチャーという役割になって、苦しい時期もあったと思うんですが、やり通せた原動力は何かですか？

張 やっぱり仲間の存在が大きかったですね。キツイ時でも隣を見れば仲間が歯を食いしばって頑張っていて、自分だけが手を抜くわけにもいかないですし、仲間に負けていられないという思いがあったので、それが原動力になったと思います。

—— やはり亜細亜大学の4年間で得たものは、今考えても大きいですか？

岡留 本当にすごく大きいですね。今、張が言った仲間という部分でも、自分は小学校から大学までアマチュアでやってきましたが、大学時代が一番話が尽きないというか、思い出があり余っていて。やっぱりその4年間は良かったんだと思います。

—— 張さんも亜細亜大学での4年間で、今のお仕事や野球部の活動に生きていることも多いですか？

張 そうですね。抽象的な言い方になるんですが、本当に全体的に生きていて、亜細亜での生活があったからこそ、今の野球や仕事の生活が成り立っているんだなということを実感しています。

※「剃厘」・・・気持ちを入れるべき時に頭髪を剃る、亜細亜大学の伝統。



バッテリー秘話

—— ここからは、張さんから岡留投手に色々聞きたいことがあるということで、ご本人から質問していただきます。

岡留 柔らかい感じで頼むよ(笑)。こんな言葉遣いしてなかったのに、すごい社会人になってるな(笑)。

張 僕も成長しています(笑)。早速ですが、昨年中継ぎとして35試合に登板されましたが、ご自身でも成長できた実感はありますか？

岡留 そうですね。ほぼ1年間一軍にいたことは大きくて、一軍と二軍では試合の観客数や緊張感、本当に全部が違うというか。数カ月一軍にただただとわからないところがすごくあったんですが、相手打者の反応も1年間通して見られまし、それを頭に入れて試合できたので。1年間一軍にいますごく成長できたのかなと思います。

張 自分が見ていても、まっすぐの勢いは相変わらずすごいなと思っていたんですが、大学時代はスライダーが全く曲がっていなかったですよ？

岡留 ああー、はい(笑)。

張 それがプロになってから「めっちゃ曲がってるやん!」と思ったんですが、その辺りの自信はどうですか？

岡留 めっちゃ練習しました。本当に課題の一つだったので、プロ1年目から(キャンプでも)全体練習が終わってから個別の自主練習で、スライダーをコーチにずっと受けてもらっていました。2年間ぐらい試行錯誤しながら、やっと昨年ある程度形になって、自分の思い通りになってきました。もちろん日によって良し悪しもありますが、バッターの反応を見ながら投げられるようになったのが昨年からだったので、それもすごく大きかったと思います。

—— 例えば今の岡留投手のボールを張さんに受けてもらったら、びっくりすると思いますか？

岡留 まあまあまあ(笑)。してほしいですね。

張 あのスライダーはテレビで見えて感動しました。

岡留 よかった。やっぱり張は知ってるからね、大学時代のスライダーを。カウントは取れたりしていたんですが、空振りを取れるとかはなくて、結局まっすぐの強さで生きてきたところがあったので。プロに入ってからずっと課題になっていて、「これを投げられないと終わる」と思ってずっと練習してきて、張がこうやって言ってくれて、すごくうれしいです。

張 昨年はプロ初セーブも挙げられました。その試合(DeNA戦)は延長10回で佐野選手、オースティン選手、宮崎選手という場面でしたが、緊張しましたか？

岡留 緊張していましたが、そんなに考えないようにして、1人1人、目の前のバッターを抑えようという感じで。いつもより緊張感はめちゃくちゃあったけど、その分逆に切り替えて投げましたね。

張 佐野選手をはじめ、球界を代表するバッターと対戦するのはどんな感じですか？

岡留 本当にみんなめっちゃくちゃ良いバッターですからね。特にクリーンアップとか、一流と呼ばれるバッターはレベルが違うというか、ここぞという時の集中力もすごくあって。僕は昨年、負けている試合や点差が離れている勝ち試合の登板が多かったんですが、その時対戦する佐野さんやオースティン、宮崎さんではなくて、優勝かった試合の1点差、という場面での集中力を感じました。特に最初の佐野さんも、なんか「うわあ、違う」って(笑)。いつもと違うという言い方はどうかかわからないですが、



本当にその場面に込める気持ちの見え方が全然違って、僕もどうやって打ち取ってやろうとそればかり考えながら、怖じ気づくことは全然なかったんですが、その時にやっぱりすごいなと思いました。すごく良い経験になりましたね。

張 今話していて、野球選手としてめちゃくちゃ、考えられないぐらい成長しているなという感じなんですが…。

岡留 ありがとうございます! (笑)

張 大学時代、ランニングが群を抜いて遅かったじゃないですか? そっちの面は今、いかがですか?

岡留 まあ、速くはないです、はい。以上です(笑)。…でも頑張ってます。今日もいっぱい走りましたし、しっかりやり切ることは大学で学びました。

張 ちなみに岡留さんは覚えているかわからないですが、ランニングが遅くて監督さんが岡留さんに怒った時、自分は監督さんの意思を伝えないといけなくて、自分も怒ったことがあって。その時ものすごく嫌な顔をされていたんですが、覚えてますか?

岡留 覚えてますね(笑)。亜細亜って、先輩後輩関係なく、みんなで言い合いですよ。やれていない人に対して、やれないんだったらチーム全員で言い合ってやれるようにしていこうという感じで。監督が言う前から選手同士で走れよみたいに言い合うので、その時はすごい顔をしていたと思います。

張 でも、ランニングの時はすぐ顔に出てしまうんですが、いざマウンドに上がると、多分スイッチがあると思うんですが、全然顔に出ないですよ。

岡留 ランニングは、もちろん逃げたりせずちゃんと走るけど、好きではなかったからね(笑)。

—— 逆に岡留投手から今の張さんに聞きたいことはありますか?

岡留 本当に「社会人になってる」という感じなので。プロと社会人ってまた少し違うと思うんだけど、一緒に亜細亜でやって

きて、(亜細亜大学の)生田(前)監督の教えはすごく生きるとみんな言っていたので、それが張にとって社会人としてどう生きているのかなと。

張 やっぱり「素直」というところが自分の良いところでもり、亜細亜でも学んだ部分だと思うので、人が嫌がるような、誰も持ちたがらないような仕事でも自分が率先してやることは意識して取り組んでいます。そういうところで上司から「それ気持ちいいな」みたいに褒めてくださる場面は多くありましたね。

岡留 亜細亜は監督さんが、本当に「後ろに目があるのか」くらい色々見ているので、隙がないというか。だから張のように率先してできている人は、監督さんにもいいように話されることが多いので、繋がっているなと思いますね。

中心の存在に

—— 岡留投手はプロ4年目、張さんは社会人3年目で、「若手」と呼ばれる立場ですが、それぞれ自分のチーム、会社の好きなところ、良いと思うところはどこですか?

岡留 すぐ浮かぶのはファンの熱量ですね。そこは他球団と絶対違いますし、ホームゲームは毎回満員だったり、ビジターでも多くのファンが駆けつけてくれて、それはタイガースならではのと思いますし、そこが良いところですね。

—— タイガースに入れてよかったなと、しみじみ思う時もありますか?

岡留 そうですね。ビジター球場で試合する時に、やっぱり甲子園はすごいなと改めて思います。昔から見ていましたし、高校野球でも使われて、野球をしている人にとっては特別な場所ですから。そこにタイガースファンのすごい熱量があるので、甲子園で試合する時は、やっぱり他の球場より、何か高ぶる感じはあると思います。

—— 張さんにDTSの良さを聞く前に、岡留投手は張さんがDTSでどんな仕事をしているか知っていますか?

岡留 詳しくは聞いてなくて(笑)。

張 簡単に言うと、コンビニとかでマイナンバーカードをかざすと、住民票や身分証を取れるシステムがあるんですが、その保守と運用をやっています。

岡留 すごい…。なんかすみません(笑)。

—— 岡留投手の生活にも張さんが関わっているんですよね。

張 コンビニに入ったら自分のことを思い出してくれるとうれ

しいです(笑)。

岡留 いやです(笑)。

—— そんな張さんは、DTSの好きなところ、良いと思うところはどこですか?

張 人間関係が良いところですね。野球部の先輩はもちろん、配属先の職場の先輩も、IT未経験の自分が困らないようにやりやすい環境を作ってくださったので、人間関係が本当に良い会社だと思います。

—— 岡留投手がいるプロ野球は、全てが数字で出る世界ですよ。そんな中で結果を出すために、一番大切にしていることは何ですか?

岡留 僕もまだそこまですごい結果を出しているわけではないのであまり言えないんですが、「考え方が大事」ということは、この3年間やってきてすごく思いますね。数字が目に出る分、自分を追い詰めてしまったり、結果が出ない時ほど、それがすごく目に見えるので。青柳(晃洋)さんと一緒に自主トレをさせてもらっているんですが、青柳さんから特にそういう、自分を楽にできるような考え方を教えていただいて。一流の選手、活躍できる選手は自分にいいように考えることをしているので、それが大事なのかなと思っています。

—— 張さんは、平日は仕事を頑張って、土日で野球部の活動もされて、両立も大変だと思いますが、どんなことを大切にしていますか?

張 感謝の気持ちだけは忘れないようにすることを大切にしてい





います。自分たち野球部の活動は、会社であったり様々な方の協力がないと成り立たないと思うので、そういう方々に少しでも恩返しができるように、という気持ちで日々頑張っています。—— DTSは若者が夢を叶えられる会社を目指されているんですが、岡留投手がプロ野球選手になる夢を叶えて頑張っている一番の要因は何だと思いますか？

岡留 僕はずっと、プロ野球選手が夢というよりは、「周りの人に負けたくない」という思いが少し強くて。亜細亜に来る選手たちは能力の高い人がすごく多くて、「ここで試合に出ようと思ったらこれだけやらないといけない」と、そういう思いで必死に食らいついてやっていたらプロが見えてきて、それを掴んだという感じなんです。プロに行きたいとは心の奥ではずっと思っていたんですが、行かせてくれたのは、やっぱり沖縄尚学（高校）や亜細亜で揉まれたからかなと思います。

—— 張さんも、大学時代はケガがあって、ブルペンキャッチャーという役割でチームを支えてきました。裏方という部分で大変なこともあったと思いますが、そこで頑張れた要因はどう感じていますか？

張 ブルペンキャッチャーとして、どんな形であってもチームの役に立ちたいという思いがずっとありました。自分が選手として試合に出られるかわからない状況なのであれば、ブルペンキャッチャーとして、チームが少しでもいい方向に向いていければなという思いで頑張っていました。

—— その裏方の経験は、今の仕事にも生きていますか？

張 そうですね。選手でやっていた経験よりも、スタッフとしてチームを支えていた経験のほうが、今の仕事などいろんなところに繋がっていると思います。

—— 岡留投手もプロに入って、いろんなスタッフや裏方さんがいらっしゃいますが、そういうチームを支えてくれる方々への感謝はより一層強くなっているのではないですか？

岡留 本当にそうですね。自分が今こうやって何不自由なく野球できているのも、裏方さんがいろんなことをやってくれているからだと思っています。トレーナーの方、洗濯してくれる方とか、その他たくさんの裏方さんの動きがあって野球ができていくんだと、プロに入ってわかることがすごくありました。

—— 張さんへの感謝も、前にも増して？

岡留 もちろん、ずっとあります！（笑）

—— これから岡留投手はチームの中で、張選手は会社の中で、中心的な存在を目指していくと思いますが、将来的な目標を教えてください。

岡留 チームの柱になることですね。1年間一軍で投げ続けていくことで、そういう信頼される選手になると思うので、しっかりと今年も結果を出したいです。それを続けていくことでそういう存在になっていくと思うので、まず今年は50試合登板を目標にしています。

張 僕は、まずは社内で信頼されるような人材になって、このDTSという会社をいろんな人知ってもらえるような仕事をしていきたいと思います。

—— 最後にお互いに向けて、今後へのエールをお願いします。

張 同じ大学の仲間がプロの世界で頑張っているのを見るだけで、自分たちは元気もらえて、頑張ろうという気持ちになるので、1日でも長くプロの世界で投げている姿を見たいと思っています。1日でも長く、プロとして頑張ってください！

岡留 ありがとうございます。恥ずかしくてあまり目が見れない（笑）。張は、誰に言われなくても頑張ると思うし、今も頑張っていると思うので、「頑張れ」は言わないですが、人のためにいろいろできるのが張の良さだと思うので、それはずっと続けていってほしいなと思います。

張 ありがとうございます。今後ともよろしくお願いします！



対談を終えて / 張大地

大学時代と変わらずブルペンで最後まで残って投げる姿を生で見、またその後も最後まで残ってトレーニングを行っていたこと聞き、今シーズンにかけての思いが伝わってきました。対談の中で「自身の課題に対して改善できなければ終わってしまう世界」と話したのが特に印象的でした。プロ野球の世界は厳しいというのはよく聞く話であり、私自身理解しているつもりでしたが実際にそういった環境に身を置き、プレーしている選手から聞くことでより深みが増しました。岡留さんとは業種や環境が違えど、目標に向かってひた向きにやっていくという点では私も同じだと思います。目標に対してひた向きに取り組んでいた岡留さんの背中を追いかけて、私自身も頑張ろうと思います。

DTS野球部 選手紹介



野球部部長
神田 誠
KODA MAKOTO
1969年9月12日生
山口県出身



監督 30
増田 尚行
MASUDA NAOYUKI
1972年7月21日生
埼玉県出身



コーチ 34
奈良 弘将
NARA HIROMASA
1975年9月24日生
東京都出身

- ①投打 ②身長体重
- ③入社年
- ④生年月日
- ⑤出身地
- ⑥出身高校
- ⑦出身大学



投手
岩崎 純司
IWASAKI JUNJI
①右 / 右 ②176cm 81kg
③2024年
④1997年8月29日
⑤神奈川県
⑥藤沢翔陵高等学校
⑦神奈川工科大学



投手
武内 寛斗
TAKEUCHI HIROTO
①右 / 右 ②176cm 78kg
③2024年
④2001年7月7日
⑤神奈川県
⑥八王子高等学校
⑦上武大学



投手
関 悠平
SEKI YUHEI
①左 / 左 ②185cm 69kg
③2016年
④1993年7月12日
⑤神奈川県
⑥日本大学第三高等学校
⑦拓殖大学



投手
板垣 翔太
ITAGAKI SHOTA
①右 / 右 ②177cm 83kg
③2025年
④2002年6月23日
⑤神奈川県
⑥東海大学付属札幌高等学校
⑦神奈川工科大学



投手
落合 幸喜
OCHIAI KOKI
①右 / 右 ②180cm 85kg
③2020年
④1997年12月9日
⑤神奈川県
⑥藤沢翔陵高等学校
⑦神奈川工科大学



投手
荻原 吟哉
OGIHARA GINYA
①右 / 右 ②172cm 72kg
③2025年
④2002年10月15日
⑤石川県
⑥星稜高等学校
⑦亜細亜大学



投手
高橋 裕汰
TAKAHASHI YUTA
①左 / 左 ②183cm 83kg
③2022年
④1999年10月30日
⑤神奈川県
⑥八王子高等学校
⑦上武大学



捕手
張 大地
HARI DAICHI
①右 / 右 ②178cm 80kg
③2012年
④2000年10月14日
⑤徳島県
⑥徳島城南高等学校
⑦亜細亜大学



捕手
成田 尚輝
NARITA NAOKI
①右 / 右 ②173cm 96kg
③2020年
④1997年10月20日
⑤兵庫県
⑥三田西陵高等学校
⑦亜細亜大学



内野
高山 凌輔
KOYAMA RYOSUKE
①右 / 左 ②172cm 78kg
③2019年
④1996年6月18日
⑤熊本県
⑥九州学院高等学校
⑦上武大学



内野
中村 洸星
NAKAMURA KOSEI
①右 / 左 ②168cm 75kg
③2024年
④2001年11月19日
⑤東京都
⑥東海大学菅生高等学校
⑦神奈川工科大学



内野
谷岡 享玲
TANIOKA KYOREI
①右 / 左 ②172cm 76kg
③2023年
④2000年7月2日
⑤高知県
⑥高知高等学校
⑦亜細亜大学



内野
小野寺 拓海
ONODERA TAKUMI
①右 / 右 ②183cm 95kg
③2020年
④1997年10月28日
⑤静岡県
⑥常葉大学付属橋高等学校
⑦亜細亜大学



内野
本橋 海斗
MOTOHASHI KAITO
①右 / 左 ②170cm 75kg
③2016年
④1993年11月16日
⑤神奈川県
⑥飛龍高等学校
⑦神奈川工科大学



内野
小田村 涼
ODAMURA RYOU
①右 / 左 ②174cm 76kg
③2018年
④2002年5月26日
⑤神奈川県
⑥東海大学菅生高等学校
⑦神奈川工科大学



外野
石橋 勇汰
ISHIBASHI YUTA
①右 / 右 ②175cm 82kg
③2018年
④1995年7月11日
⑤福岡県
⑥福岡第一高等学校
⑦日本経済大学



外野
仲宗根 輝弥
NAKASONE TERUYA
①右 / 右 ②177cm 77kg
③2012年
④1989年9月23日
⑤沖縄県
⑥具志川商業高等学校
⑦亜細亜大学



外野
伊藤 寛太
ITO KANTA
①右 / 左 ②181cm 76kg
③2021年
④1998年8月11日
⑤愛知県
⑥静岡高等学校
⑦亜細亜大学

【DTS野球部公式サイト】

最新情報はこちらをチェック→
HP:<https://www.dts.co.jp/sports/>



DTS野球部 2025年シーズン 試合日程・結果

東京都春季軟式野球大会 結果:優勝

4月5日(土)、19日(土)
場所:板橋区戸田橋グラウンド(4/5)、駒沢オリンピック公園総合運動場 硬式野球場(4/19)

中央区軟式野球連盟 春季大会 1部リーグ

5月11日(日)～7月6日(日)
場所:月島運動場 結果:3位

東京都夏季軟式野球大会

6月7日(土)～7月21日(祝・月)
場所:未定 結果:優勝

MLB ドリームカップ

7月27日(日)～8月24日(日)
場所:明治神宮外苑

東京都秋季軟式野球大会

8月23日(土)～10月18日(土)
場所:未定

高松宮賜杯第 69 回全日本軟式野球大会 (2部)

9月13日(土)～15日(祝・月)
場所:群馬県

中央区軟式野球連盟 秋季大会

10月19日(日)～11月30日(日)
場所:月島運動場

関東選抜軟式野球大会 (2部) ミズノトーナメント

10月25日(土)～26日(日)
場所:東京都

練習予定 場所: 大宮けんぽグラウンド ※雨天中止、日程変更の可能性があります。

5月3日(土)、7月5日(土)、7月12日(土)、7月19日(土)、7月27日(土)、9月28日(日)

2026年

2月7日(土)、2月14日(土)、2月21日(土)、28日(土)、3月14日(土)、3月21日(土)、3月28日(土)

メッセージ



DTS野球部 部長 神田 誠

1972年の会社設立と同時に野球好きが集まって作られた「野球同好会」は、1990年に「DTS野球部」になり、TJK事業所対抗軟式野球大会や日刊スポーツ杯、IPI軟式野球リーグなど様々な軟式野球大会に挑み、これまで多くの栄冠を手にしてまいりました。そして「DTS野球部」となって35年になる本年、更なるチャレンジに向けてメンバーは切磋琢磨しています。特に「中央区軟式野球連盟」に所属して参加する大会の数々は、勝てば勝つほど上位の大会(都大会や全国大会)への挑戦も見えてくる、とても夢のある、でも厳しい戦いです。DTSは長期展望「Vision2030」に「チャレンジ」を掲げています。「DTS野球部」も新たなチャレンジを楽しみながら、大好きな野球を通じて、お客様や社員、その家族などステークホルダーの皆さまに素敵な報告ができるよう、メンバー一丸となって挑戦してまいります。これからも「DTS野球部」への応援を、よろしくお願い致します。

DTS野球部 監督 増田 尚行

日頃より野球部活動へのご理解、ご支援を頂きまして誠にありがとうございます。昨シーズンは、主戦場を中央区1部(中央区軟式野球連盟)に置き、春季大会(優勝)、秋季大会(3位)と、選手全員の日々努力の積み重ねもあり、まずまずの結果を残すことができました。今シーズンは、中央区での成績が評価され、中央区代表として、東京都大会(Cクラス)へ出場することが決まりました。東京都春季大会で優勝すると、東京都代表として全国大会(高松宮賜杯2部)への出場権を獲得できる大会となります。DTS野球部は、区から都、都から全国へと高い目標をもって今シーズンも前へ前へと突っ走って参ります。今後もチャレンジし続けるDTS野球部、野球部員へのご支援、ご声援をどうぞよろしくお願いいたします。



DTS野球部 キャプテン 小野寺 拓海

昨シーズンは目標としていた中央区軟式野球連盟春季大会1部リーグでの優勝を成し遂げ、上位チームが集う都大会への出場権を勝ち取ることができました。これも社員の皆様からのご支援・ご声援、そして選手たちの努力があった結果だと思います。野球部主将として心から厚くお礼申し上げます。そして今年は、DTS野球部にとって「挑戦」のシーズンとなります。先述した都大会や勝ち進んだ先にある全国大会と、これまで経験していない新たなステージへの一歩を踏み出します。ここまで積み重ねてきたことを信じ、応援いただいている皆様に良いご報告ができるよう、シーズン終了まで全力で駆け抜けていきたいと思っております。今後とも野球部へのご支援・ご指導をよろしくお願いいたします。